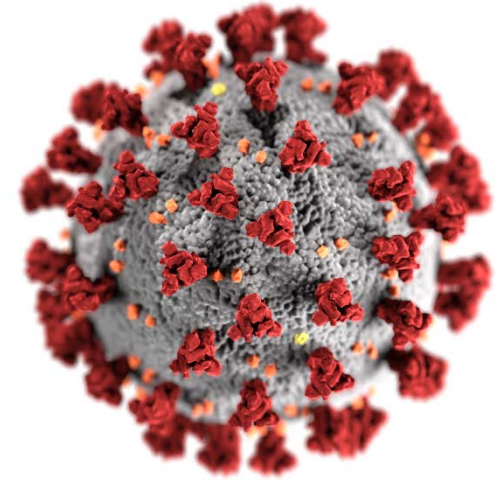


# 新型しんがたコロナウイルス流行りゅうこうの中で ～放送大学ほうそうだいがく教員きょういんからのメッセージ～

1. 新型しんがたコロナウイルスとは：二河成男にこうなるおしぜんかんきょう（自然と環境コース）
2. ウイルス感染への対応：田城孝雄かんせんたいおうたしろたかおせいかつふくし（生活と福祉コース）
3. 社会的な距離をとるとのこと：森津太子しゃかいてききよりもりつたこしんりきょういく（心理と教育コース）
4. 緊急時きんきゅうじだからこそ忘れないで欲しい、情報じょうほうの入手と発信の基本：辰己丈夫わすほじょうほうにゆうしゅはっしんきほんたつみたけお（情報コース）
5. 多様な人びとがおかれた状況への想像力たようひとじょうきょうそうぞうりょくを：北川由紀彦きたがわゆきひこ（社会と産業コース）
6. 読書のすすめ：近藤成一どくしょこんどうしげかずにんげんぶんか（人間と文化コース・放送大学附属図書館長）
7. 運動不足の弊害と運動実施時の注意点うんどうぶそくへいがいうんどうじっしちゅういてんせきねのりこせいかつふくし：関根紀子（生活と福祉コース）
8. リスク管理の観点からみたウイルス感染リスクとつきあう生活の姿—まとめにか  
えて：奈良由美子かんりかんてんかんせんせいかつすがた（生活と福祉コース）

# ウイルスとは何か

- 生きている細胞の中<sup>な</sup>でしか増えられない
- 細胞<sup>さいぼう</sup>を利用するための巧妙<sup>こうみょう</sup>な仕組み<sup>しくみ</sup>をもつ
  - 細胞<sup>さいぼう</sup>の中<sup>なか</sup>へ入<sup>はい</sup>る **侵入**<sup>しんにゆう</sup>
  - 細胞<sup>さいぼう</sup>の中<sup>なか</sup>で増<sup>ふ</sup>える **複製**<sup>ふくせい</sup>
  - 細胞<sup>さいぼう</sup>から出<sup>で</sup>る **放出**<sup>ほうしゅつ</sup>



新型<sup>しんがた</sup>コロナウイルスの模式<sup>もしきず</sup>図  
(CDC/ Alissa Eckert, MS; Dan Higgins, MAMS)

## ウイルス感染<sup>かんせん</sup>のしくみ



## ウイルス感染<sup>かんせん</sup>への対策<sup>たいさく</sup>

- ウイルス<sup>せい</sup>の生活環<sup>いかつかん</sup>を断<sup>た</sup>つ **その手段<sup>しゆだん</sup>は？**

手洗<sup>てあら</sup>い マスク等<sup>とう</sup>  
免疫<sup>めんえき</sup> ワクチン<sup>こう</sup> 抗<sup>こう</sup>ウイルス<sup>ざい</sup>剤

# ウイルス感染への対応

- PCRは新型コロナウイルスに特有な遺伝子部分を1兆倍に増幅し検出する方法
- 陰性の場合でも絶対に感染していないと断言できない—偽陰性
- 三密を満たした環境では感染を拡大させるリスクがある
- 三密状態を徹底的に避ければ、感染する可能性は低い
- 4週間～8週間、地域で新たな感染を起こさなければ、感染者数が減少する
- 感染を収束させるにはワクチンの普及が必要であるが、開発までに1年以上かかると見込まれている
- それまでは、早期発見・早期隔離、早期診断・早期治療と、自分が感染しない・他の人を感染させないことが重要

# 社会的距離しゃかいてききより（ソーシャル・ディスタンス）をとる ということ

- 社会的孤立しゃかいてきこりつが引き起こされた場合、心身しんしんの健康けんこうに対して大きな危険因子きけんいんしとなる
- 身体的／物理的距離しんたいてき ぶつりてき きよりを広く保ちつつも、心理的距離しんりてききよりは狭めておくことが必要ひつよう
- これは従来の慣習じゅうらい かんしゅうに反する不自然な行為はん ふしぜん こういのため、慣れるまでには時間じかんを要する



とうきょうと  
東京都のロゴマーク

# 1. <sup>しゃかいてき</sup>社会的に<sup>ふあんてい</sup>不安定な<sup>とくちょう</sup>ときの特徴

## フェイクニュース

とは、<sup>ただ</sup>正しくないニュース

- <sup>いと</sup>意図があるフェイクニュース
  - <sup>りえきゆうどう</sup>利益誘導
  - いたずら
- <sup>いと</sup>意図がないフェイクニュース
  - うっかり
  - <sup>ふくざつ</sup>複雑・<sup>こんなん</sup>困難

## インフォデミック

とは、<sup>じょうほう</sup>情報の<sup>かじょうかくさん</sup>過剰拡散

- <sup>だいじ</sup>大事な<sup>じょうほう</sup>情報だから  
みんなに知ってほしい
- <sup>だいじ</sup>なぜ大事？
  - <sup>あんぜんいしき</sup>安全意識
  - <sup>せいぎかん</sup>正義感
  - <sup>りえきゆうどう</sup>利益誘導

## 2. ICTにおけるレジリエンスとユニバーサルデザイン

### レジリエンス

とは、一般に、環境の急激な変動や逆境の状況に対し、柔軟な対応・適応によって安定性を維持、または取り戻す能力

- 情報危機管理
  - 非常時のための準備
  - 非常時の行動
- ジレンマ

### ユニバーサルデザイン

とは、多様な人のための情報デザインの考え方

- 資料を印刷して、スキャナでPDFにして掲示
  - データの再利用が困難
- 視覚・聴覚
- 肢体不自由
- 外国語話者

# 多様な人びとがおかれた状況への想像力を

- 非常時には社会的格差が顕在化
- 格差の放置は社会の不安定化を招く
- 多様な人びとがおかれた状況への想像力を
- 差別を容認しない社会を

# スペイン風邪<sup>かぜ</sup> (1918-1920)、ペスト (1346-1351)

## 中世<sup>ちゆうせい</sup>と現代<sup>げんだい</sup>のちがい

- 現代人<sup>げんだいじん</sup>は対処<sup>たいしよ</sup>する方法<sup>ほうほう</sup>を知<sup>し</sup>っている
- 人々<sup>ひとびと</sup>の移動<sup>いどう</sup>の量<sup>りょう</sup>と速度<sup>そくど</sup>が格段<sup>かくだん</sup>に大き<sup>おお</sup>くなった

## 読書<sup>どくしょ</sup>のすすめ

- 本<sup>ほん</sup>を讀<sup>よ</sup>む → 時代<sup>じだい</sup>を讀<sup>よ</sup>む
- 時代<sup>じだい</sup>を讀<sup>よ</sup>む → 時代<sup>じだい</sup>を生き<sup>い</sup>る、時代<sup>じだい</sup>を切り<sup>き</sup>拓<sup>ひら</sup>く



# 屋外で安全に運動・スポーツをするには

## ひとご 混み さ 人混みを避ける

- マスクを使用
- 他ほかの人ひとと距離きょりをとる

## うんどうりょう ちょうせつ 運動量の調節

- マスクの影えいきょう響こうりょを考こうりょ慮
- 体調たいちょうにああわせて調ちょうせつ節

## ねっちゅうしょう ちゅうい 熱中症に注意

- 暑熱馴化しょねつじゅんか
- 暑あつい時ときは無むり理をしない

## すいぶんせつしゅ くふう 水分摂取の工夫

- マスクにさわらない
- 飲のみ口くちにさわらない



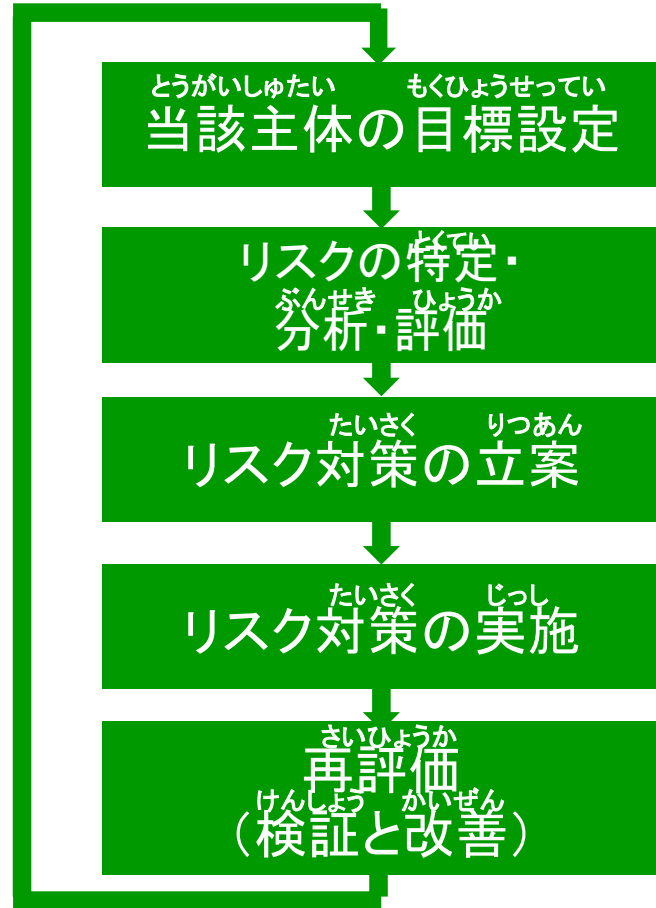
# ウイルス感染リスクと生活を考える2つの観点

みづか せいかつ  
 自らの生活のリスクマネジメント  
 もんだい かんが  
 として問題を考える

にんげん  
 わたしたち人間の  
 せいかつ  
 生活のレジリエンス  
 もんだい かんが  
 として問題を考える

## ■ リスクマネジメント

- リスク低減のための管理過程
- 当事者性とメタポジション



## ■ レジリエンス

- 危機や逆境に対して柔軟に回復・適応する力
- これまでもウイルスとともに有り続けてきた人間の生活
- ウイルスと共存したレジリエントな生活や社会をつくっていくには